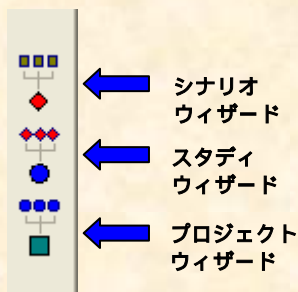


ETAP Technical Report - No. 020

Etap 5.0 ウィザード (シナリオ、スタディ、プロジェクト) Part 1

Etap 5.0 から新たな機能として、Etapウィザード (シナリオ、スタディ、プロジェクト) が追加されました。これらの新たな機能により、スタディケースを体系的に登録し、任意の順序で幾つものスタディを連続して実行できるようになりました。

ETAP ウィザードは、下図のようにシナリオ、スタディおよびプロジェクト・ウィザードから構成され、画面左側に新たに設けられたツールバーより実行します。



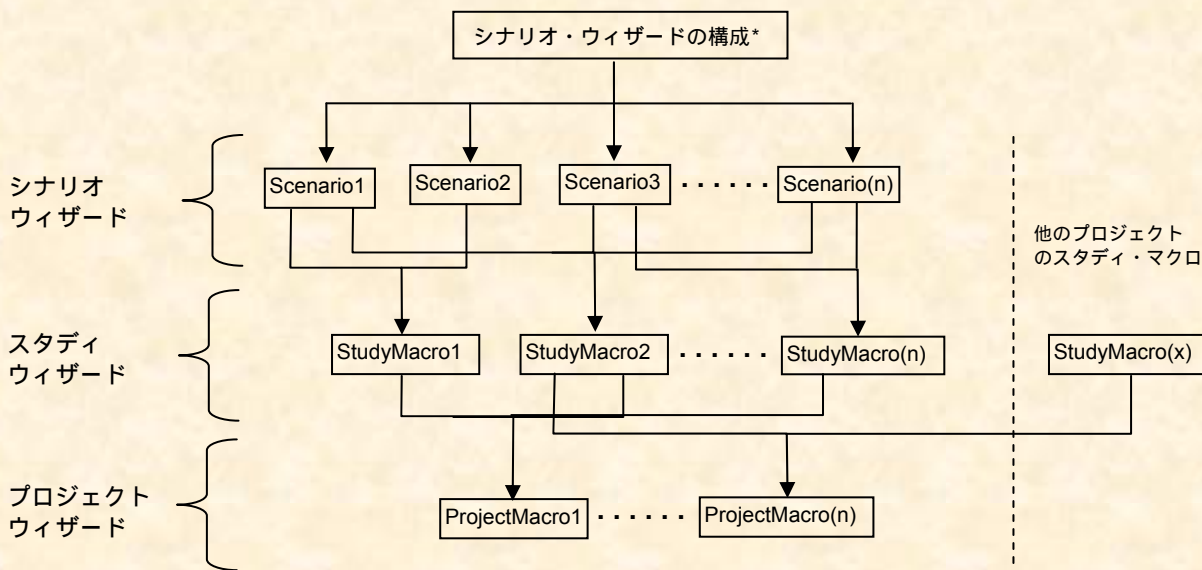
シナリオ・ウィザード は、系統構成、リビジョンデータ、スタディモード、スタディケース、レポートファイル名などの解析の条件を各々のシナリオにグループ化します。これにより、規定したシナリオに基づいて、いつでも自由に所定の条件で解析を行うことができます。1つのプロジェクトに、幾つでもシナリオを規定することができます。

スタディ・ウィザード は、規定したシナリオを、所定の順序に従って解析を実行できるようにします。スタディ・マクロを規定する前に、シナリオを規定して下さい。1つのプロジェクトに、先に規定したシナリオを用いて、幾つでもスタディ・マクロを規定することができます。

プロジェクト・ウィザード は、規定したスタディ・マクロを、所定の順序に従って解析を実行します。1つのプロジェクトに、先に規定したスタディ・マクロを用いて、幾つでもプロジェクト・マクロを規定することができます。

これらの機能を用いて、シナリオ・ウィザードで規定したスタディケースを、所定の順序で、連続して実行することができます。

上記のウィザードは、下図のようにツリー状の階層で構成されます。




* シナリオウィザードの構成 (シナリオは下記のパラメータから構成されます)

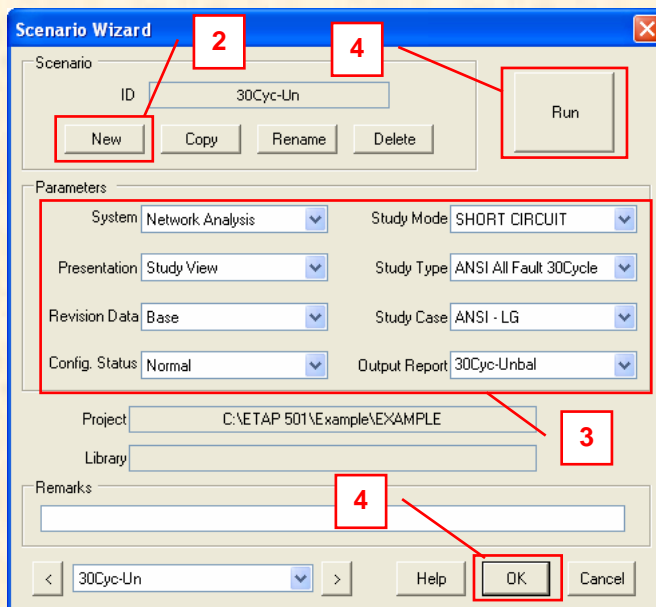
- ・ システム (例えば、系統解析、制御回路解析など)
- ・ 画面 (例えば、単線結線図、埋設ケーブル経路図、制御回路図など)
- ・ リビジョンデータ (例えば、ベースまたはリビジョンデータ 1、2 など)
- ・ 系統運用 (例えば、通常運転、発電機故障時など)
- ・ スタディモード (例えば、潮流計算、短絡電流計算など)
- ・ スタディケース (例えば、停電、瞬低、短絡事故など)
- ・ スタディ・タイプ (スタディモードによって変わります)
- ・ レポートファイル名 (スタディモードによって変わります)

該当するプロジェクトのシナリオを実行すると、自動的に規定したレポート名のレポートが作成されるか、同じ名称のレポートが既にできている時は上書きされます。


I. シナリオ・ウィザードの使用方法

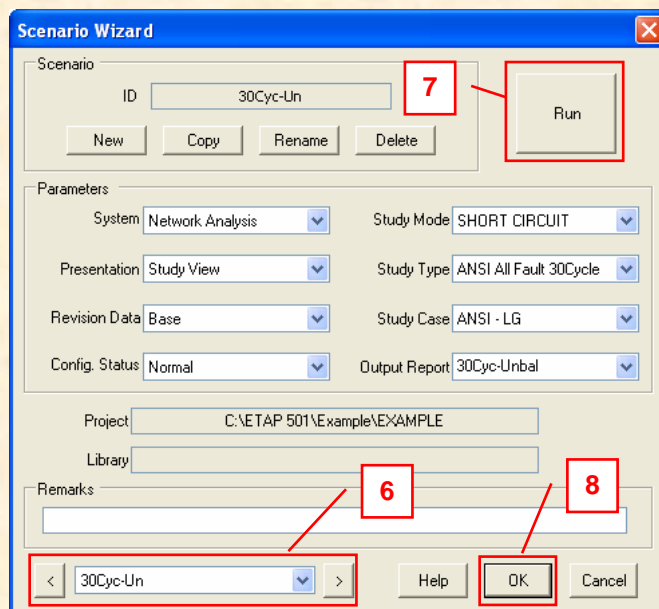
A. シナリオの作成:

- 1) システムツールバーのシナリオ・ウィザード アイコン  をクリックする。シナリオ・ウィザード エディタが開きます。
- 2) “New” ボタンをクリックする。Etap により自動的にシナリオ ID が割付けられます (例 Scenario2)。ID を変更する場合は “Rename” ボタンをクリックする。
- 3) 実行中のシナリオに該当するパラメータをプルダウンリストから選択する。各々のパラメータについての説明は、ユーザーガイド 5.4.1 項またはオンラインヘルプ Chapter 05 → Wizard → Editor → Parameters をご参照下さい。
- 4) “Run” ボタンまたは “OK” ボタンをクリックすることにより、規定したシナリオの解析を実行します。




B. シナリオの実行:

- 5) シナリオ・ウィザード アイコン  をクリックする。シナリオ・ウィザードエディタが開きます。
- 6) 下部のプルダウンリストから、実行したいシナリオ ID を選択する。
- 7) “Run” ボタンをクリックする。
- 8) Click “OK” ボタンをクリックしてシナリオ・ウィザードを閉じ、解析結果にアクセスする。



C. シナリオのコピー、名称変更、削除:

- 9) シナリオ・ウィザード アイコン  をクリックする。シナリオ・ウィザードエディタが開きます。
- 10) 下部のプルダウンリストから、コピー、名称変更または削除したいシナリオ ID を選択する。
- 11) “Copy”, “Rename” または “Delete” ボタンをクリックする

